

## 第2回 収蔵資料展のお知らせ

資料館の収蔵品を、小規模の展示会で公開していく蔵出し展の第2回目は、白老町を代表する女流歌人であった満岡照子<sup>みつおかてるこ</sup>が、生前に交流のあった文人・歌人より送られた手紙や色紙などをご紹介します。満岡は並木凡平や与謝野晶子<sup>よしかさこ</sup>といった、全国的にも著名な文化人にもその詩歌の才を認められ、ときには満岡本人が白老へ招待するなど親しい交友関係を築いていました。昭和初期のころ、白老駅に降り立った文人たちは満岡夫妻に案内されながら、思い思いに白老の詩を残して行ったのです。

今回の展示会で公開する資料には、岩見沢を拠点に活動していた渡辺直吉や柳原白蓮<sup>しろうたけ</sup>といった、町史には未掲載の人物からの色紙や書簡も含まれています。



＜昭和14年にひらかれた短歌会の記念写真  
前列左の4番目に並木凡平がいる＞



＜昭和5年に前田夕暮が訪れたときの写真。後列左から6番目に前田夕暮が写っている＞

こうした交流関係を紐解いていくと、当時の文人・歌人の活動を介して、白老がどのように見られ、紹介されていたかをうかがい知ることができます。例えば渡辺直吉は昭和8年の作品のなかで「白老は ふるきうまや路 その昔 大きな帝の 宿り給ひし」と、明治14年の天皇巡幸に触れています。また小田観蛸<sup>おだかんけい</sup>という人物は「冬曝るる 砂地の 玉蜀黍の 立枯れに 波音近き アイヌの部落」など、トウモロコシを組み込んだ景観で白老を表現しました。

展示会は12月23日（月・祝）まで。目にはさやかに見えないまま過ぎ去ってしまう白老の秋ですが、ちょっと文学散歩などを楽しんでみてはいかがでしょうか？



（昭和45年の大雨で氾濫した白老川と流出した家屋）

に、当時の付近の様子を含めたお話をお願いします。11月16日（土）の13時半に会場のいきいき4♥6第3研修室までお越し下さい。

# 仙台陣屋 かわら版

## 第103号

（平成25年11月号）

発行：仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

白老で飼育されていた動物は馬、牛、そと...

山々に囲まれた白老町は、太平洋岸の市町村のなかでは比較的、年間降水量の多い所として知られています。昭和の後に河川改修が行われるまで、白老川は何度も氾濫を繰り返していました。今回の歴史講座では、昭和20年頃から白老川の傍で養鶏を行っていた木幡さんを講師

# 埋蔵文化財の巡回展。今年は…

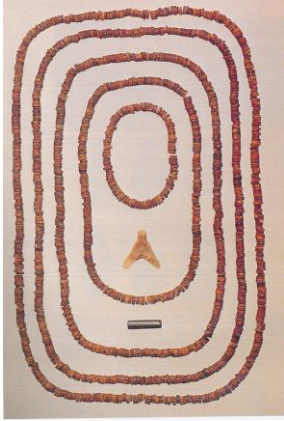
虎杖浜地区の沿岸で発見された、アヨロ遺跡の出土品を紹介します。今からおおよそ2千年前、本州ではほとんど稲作文化が広まっていた一方、北海道では引き続き狩猟採集を基礎とした生活が送られていました。

昔はお米を作らない文化は不安定と考えられることが多かったのですが、アヨロ遺跡の発掘資料からは、人々が長い期間にわたり生活していたことがわかっています。また展示資料のうち、町の有形文化財にも登録されているコハクの玉を繋げたネックレスは、1つのお墓から1千個以上もまとめて発見されました。

これだけ沢山のコハクの玉をどうやって集めたのか、どうして一人だけにコハクの玉が集められたのか、考えるほどに不思議なことが増えていきます。巡回展の日程を参考に、お住まいの地域に回ってきたときは是非ご覧になってみてください。



＜24年度の展示の様子（上）と、今回展示するコハクの玉のネックレス（左）＞



## 学問の秋 陣屋は千客万来

学芸員資格の取得を目指す札幌大学の学生が、陣屋資料館の仕事を学ぶために来館しました。当日は通常の展示解説に加え、平野学芸員による資料館業務の説明や収蔵庫の見学などでおもてなし。展示解説を担当した亀井職員も、学生の頃に学んだ「見学者自身でも考えてもらう解説」を心がけて後輩の前に立ったそうです。身振りを交えたり質問を投げかけたりすることで、より内容が理解しやすく、印象に残りやすくなります。見学者を引き込ませる解説の出来る学芸員になってもらいたいと臨んだ先輩の姿は、きっと学生たちの参考になったことでしょう。

白老東高校の一年生が、白老の歴史を学ぶため来館しました。例年事業ですが、今年の天候は生憎の雨模様。しかし生徒たちは雨合羽を着て史跡内を見学し、陣屋にまつわるクロスワードに挑戦するなど、積極的に活動してくれました。前から陣屋のことを知っていた人も、初めて陣屋に来た人もいたので、解説に対する反応も違っていました。それぞれに楽しんでくれたようですが、今度は晴れた日に、ゆっくり遊びに来てもらえればと思います。



「仙台陣屋かわら版 第103号（平成25年11月号）」

発行日：平成25年10月22日（火）

発行所：仙台藩白老元陣屋資料館 担当者：平野・亀井

<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/bunkaz/jinyai/>

Mail: [jinyai@town.shiraoi.jp](mailto:jinyai@town.shiraoi.jp)